

授業科目 社会福祉原論 I

【担当教員名】 横山 豊治		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○			
【概要・一般目標：GI0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 2. 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 3. 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 (介護福祉コースの学生はこれらの福祉の原理を生活支援の実践に活かすことができるように学んでもらいたい)					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における福祉制度の概念・理念と、福祉政策との関係について理解する。 2. 福祉の原理をめぐる理論・哲学・倫理について理解する。 3. 福祉制度の発達過程を理解する。 4. 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	現代の福祉と福祉政策 1				講義 (以下、同)
2	現代の福祉と福祉政策 2				
3	福祉の思想と哲学 1				
4	福祉の思想と哲学 2				
5	福祉政策の理論と実際 1				
6	福祉政策の理論と実際 2				
7	福祉政策の発達過程 1				
8	福祉政策の発達過程 2				
9	福祉政策の発達過程 3				
10	福祉政策の発達過程 4				
11	少子高齢化時代の福祉政策				
12	福祉政策におけるニーズと資源 1				
13	福祉政策におけるニーズと資源 2				
14	福祉政策の主体と手法				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座 4 『現代社会と福祉』第4版	後藤玲子、武川正吾、古川孝順編	中央法規	2014・2,600円+税
参考書		社会福祉のあゆみー社会福祉思想の軌跡ー	金子光一	有斐閣	2005・1,995円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
定期試験の結果で9割程度の評価を行い、授業中に複数回実施する小テストの回答状況で1割程度の評価を行う。		社会福祉学全体の基盤をなす科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験科目でもあるので、1年次のうちにその内容に関心を深め、教科書以外にも関連図書などを用いて自主的に学習する習慣を身につけること。(上記の教科書は後期の「社会福祉原論 II」でも使用)			